

各機関の流域治水対策の取組状況について

令和5年2月1日

香川河川国道事務所

令和4年度の取組状況一覧表

構成員	令和4年度の取組内容	参照ページ
国土交通省 香川河川国道事務所	<ul style="list-style-type: none"> ・堤防整備(橋梁架替含む)、河道掘削、洗堀対策 ・堤防決壊時の緊急対策シミュレーションの実施 ・水害リスクラインを活用した情報提供 ・水害リスク情報の充実 ・国・県・市町など土器川水防連絡協議会の開催 ・国・県・市町など関係機関が連携した総合水防訓練の実施 ・「中讃地域 防災・減災・縮災ネットワーク」構築・推進 ・「多機関連携型タイムライン」の作成と訓練の実施 	2
丸亀市	<ul style="list-style-type: none"> ・下水道事業の推進 ・農地・ため池の保全・活用 	21
坂出市	<ul style="list-style-type: none"> ・下水道事業の推進 ・各家庭等における雨水貯留浸透施設整備への助成 	24
善通寺市	<ul style="list-style-type: none"> ・避難に関する取組の推進 	27
宇多津町	<ul style="list-style-type: none"> ・雨水貯留施設整備 	29
琴平町	<ul style="list-style-type: none"> ・避難に関する取組の推進 	31
多度津町	<ul style="list-style-type: none"> ・雨水排水施設整備 	33
まんのう町	<ul style="list-style-type: none"> ・農地・ため池の保全・活用 	35
香川県	<ul style="list-style-type: none"> ・治山施設の整備 ・砂防施設の整備等 ・農地・ため池の保全・活用 	37
林野庁 香川森林管理事務所	<ul style="list-style-type: none"> ・森林の整備・保全 	41
森林整備センター	<ul style="list-style-type: none"> ・森林の整備・保全 	44
高松地方气象台	<ul style="list-style-type: none"> ・防災気象情報の提供 	資料―2

土器川流域治水プロジェクト

～『讃岐うどん』と『田園文化都市』を守る治水対策～

令和4年12月時点

構成員

国土交通省 香川河川 国道事務所

※赤字、青字の対策を実施
(青字は、各構成員共通)

<令和3年度に提示した流域治水対策>

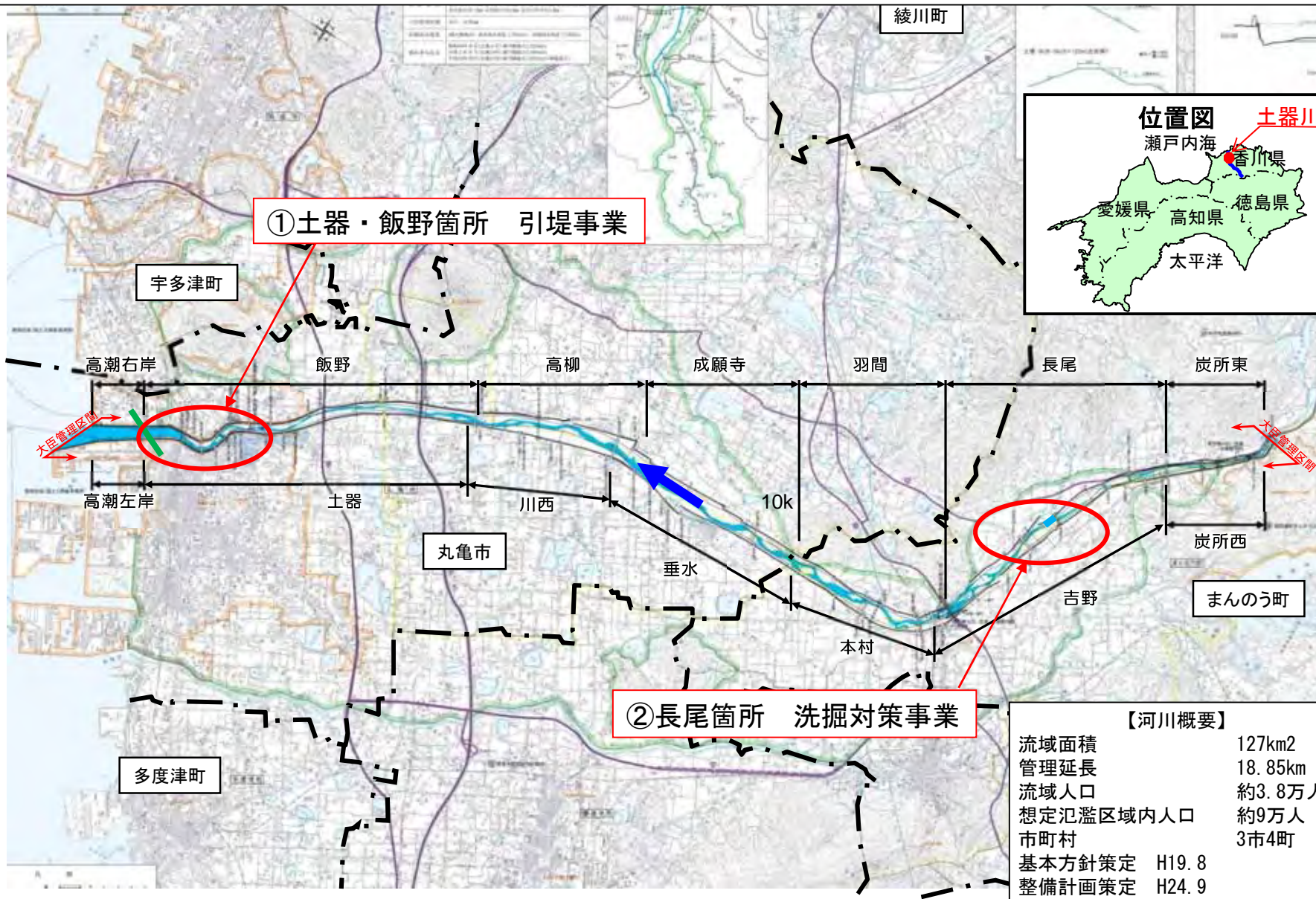
- ・堤防整備(橋梁架替含む)、河道掘削、侵食対策、土器川潮止堰更新
- ・雨水貯留施設整備【下水】
- ・下水道事業の推進【下水】
- ・雨水排水施設整備【下水】
- ・各家庭等における雨水貯留浸透施設整備への助成【都市】
- ・小河川の河川整備(河道掘削等)
- ・治山施設の整備
- ・森林の整備・保全【林野】
- ・砂防施設の整備等
- ・農地・ため池の保全・活用
- ・既存の霞堤の保全
- ・不動産関係業界と連携した水害リスクに関する情報の解説
- ・「中讃地域 防災・減災・縮災ネットワーク」構築・推進
- ・「多機連携型タイムライン」の作成と訓練の実施
- ・広域避難の近隣市町連携
- ・水害リスク空白域の解消
- ・ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組
- ・要配慮者利用施設における避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保
- ・堤防決壊時の緊急対策シミュレーションの実施
- ・国・県・市町など関係機関が連携した総合水防訓練の実施
- ・国・県・市町など土器川水防連絡協議会の開催
- ・洪水予測等のプッシュ型情報提供
- ・水害リスクラインを活用した情報提供

<令和4年度に取り組んだ流域治水対策>

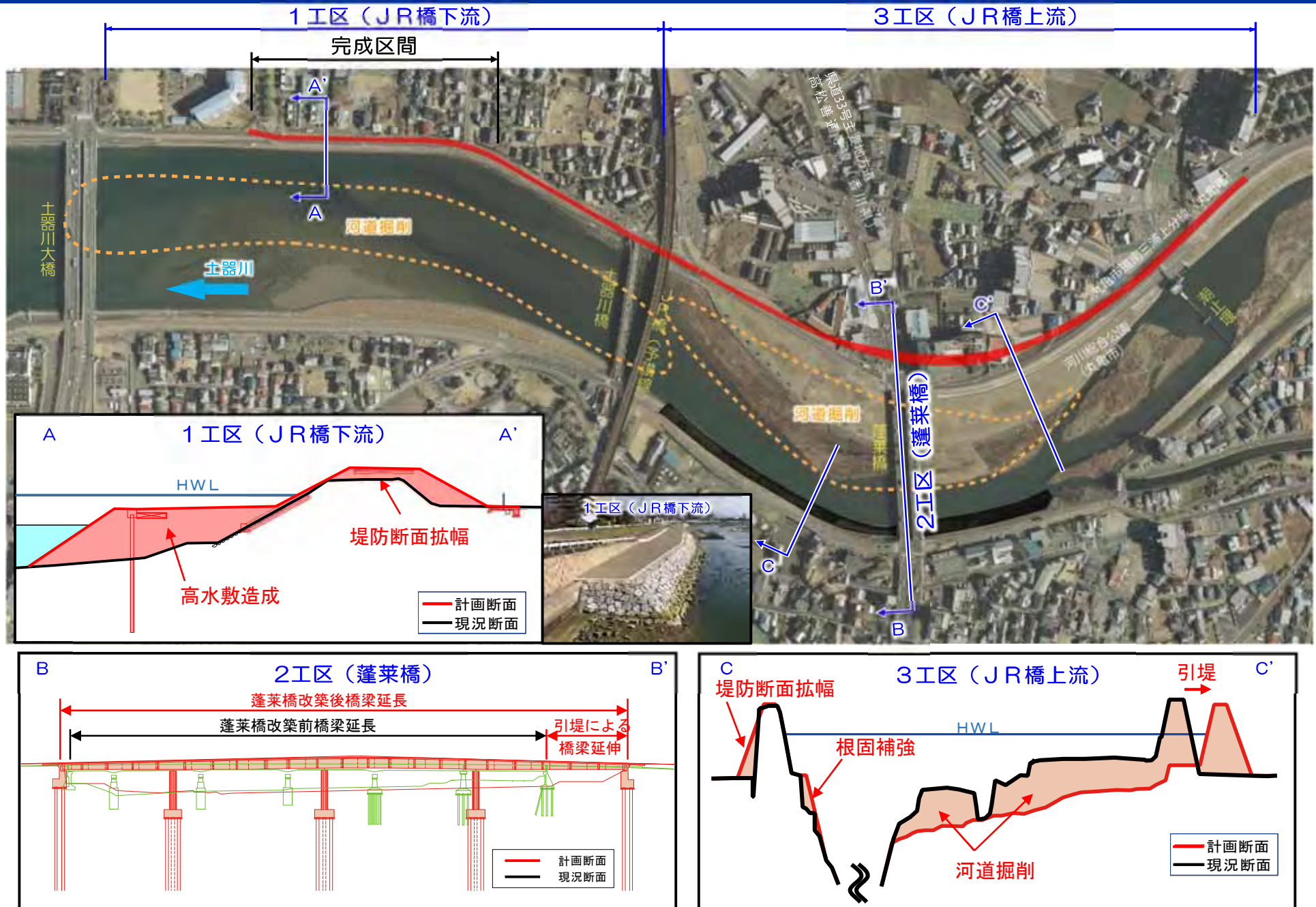
- ・堤防整備(橋梁架替含む)、河道掘削、洗堀対策
- ・堤防決壊時の緊急対策シミュレーションの実施
- ・水害リスクラインを活用した情報提供

【香川河川国道事務所】土器川 河川改修事業

▶ 土器川では、①土器・飯野箇所の「引堤事業」と、②長尾箇所の「洗掘対策事業」を実施。

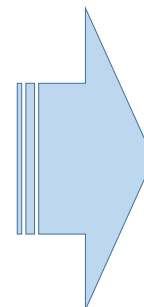
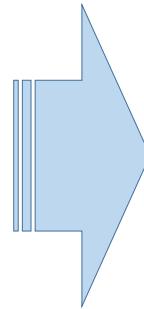


【①土器・飯野箇所】引堤事業の概要



【①土器・飯野箇所】引堤事業の実施状況 (1/2)

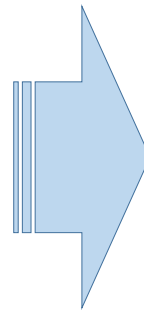
施工状況(1工区)



【①土器・飯野箇所】引堤事業の実施状況 (2/2)

施工状況(1工区)

着手前

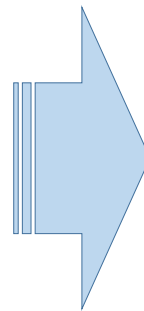


施工後 R4年4月



施工状況(3工区)

着手前



施工後(引堤部の築堤)R4年6月



【①土器・飯野箇所】引堤事業の現状 (R4.12施工状況)

河道掘削



泥上掘削機

【蓬萊橋】7月1日
香川県の4車線化事業と合わせ
取合道路を地元説明



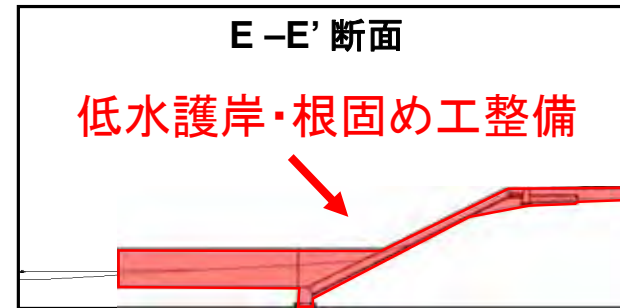
高水護岸(平ブロック張)



連節ブロック設置

蓬萊橋

【②長尾箇所】洗掘対策事業の概要（令和4年度実施箇所）



長尾洗掘対策箇所



令和3年度補正実施箇所

令和4年度補正実施箇所

令和4年度補正予算における工事予定

▶ 今後は、③洗堀対策、④樹木管理・河床整正、
⑤⑥施設・設備整備の工事を実施する予定。

④R4-5年度 土器川河床整正外工事

【主な実施内容】

- ・ 幼木踏み倒し
- ・ 樹木伐採
- ・ 河床整正

③R4-5年度 土器川長尾地区護岸外工事

【主な実施内容】

- ・ 洗堀対策

⑥R4-5年度 土器川河床整正外工事

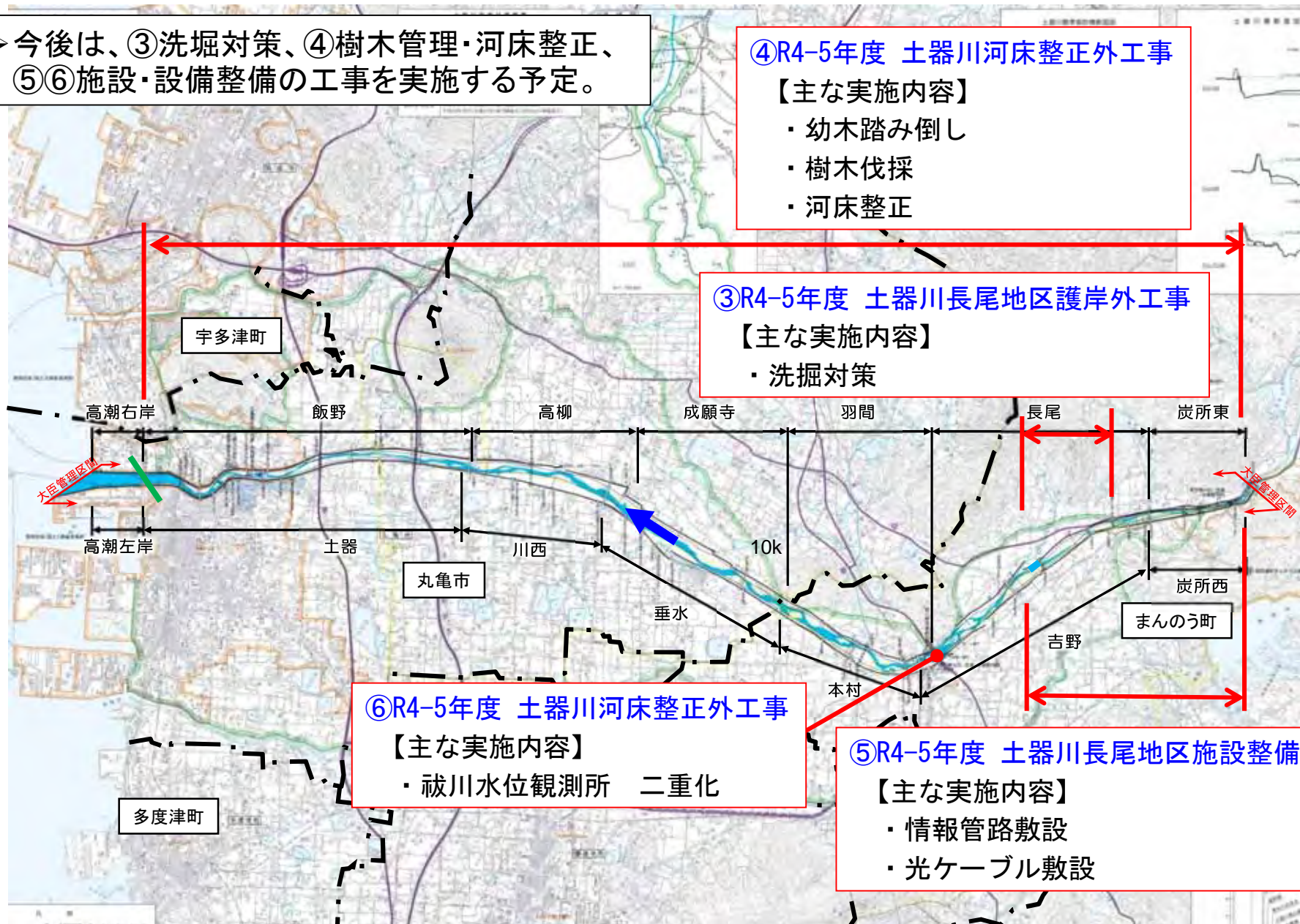
【主な実施内容】

- ・ 祓川水位観測所 二重化

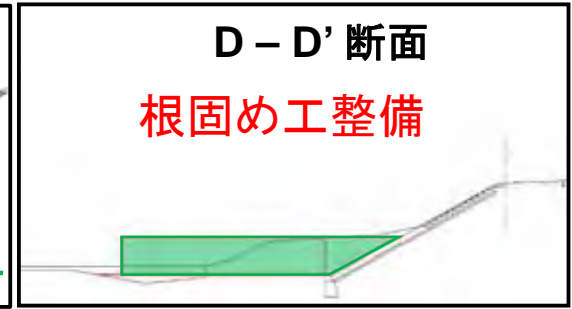
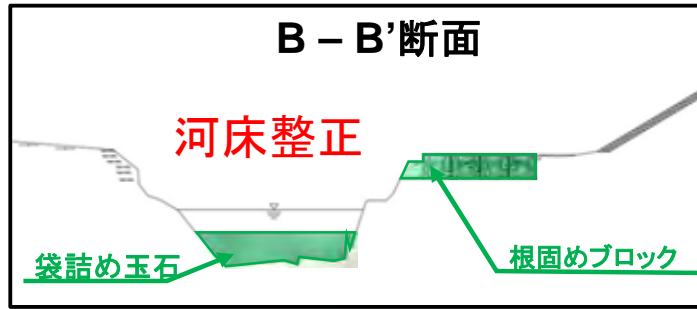
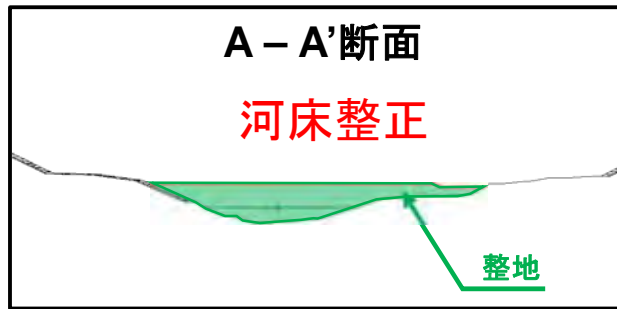
⑤R4-5年度 土器川長尾地区施設整備外工事

【主な実施内容】

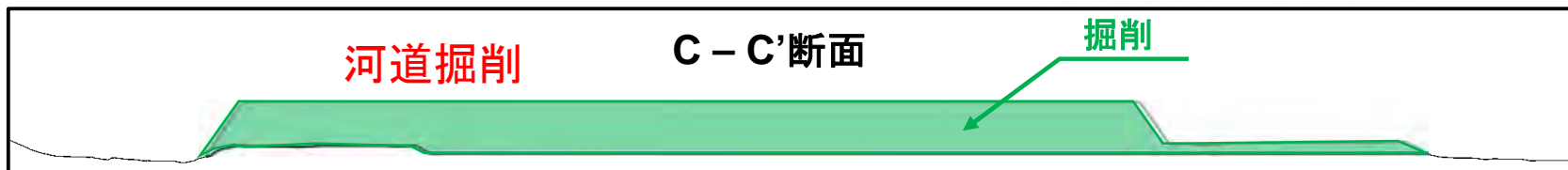
- ・ 情報管路敷設
- ・ 光ケーブル敷設



【③R4-5年度 土器川長尾地区護岸外工事】の概要



長尾洗掘対策箇所



【④R4-5年度 土器川河床整正外工事】の概要

下流






上流



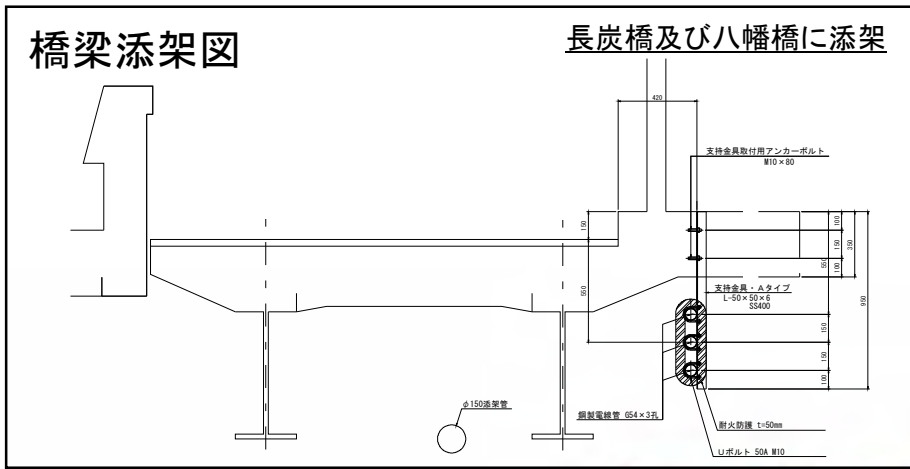
【主な実施内容】

- ・ 幼木踏み倒し
- ・ 樹木伐採
- ・ 河床整正

	幼木踏み倒し 505,550m ²
	樹木伐採 53,200m ²
	掘削 7,000m ²

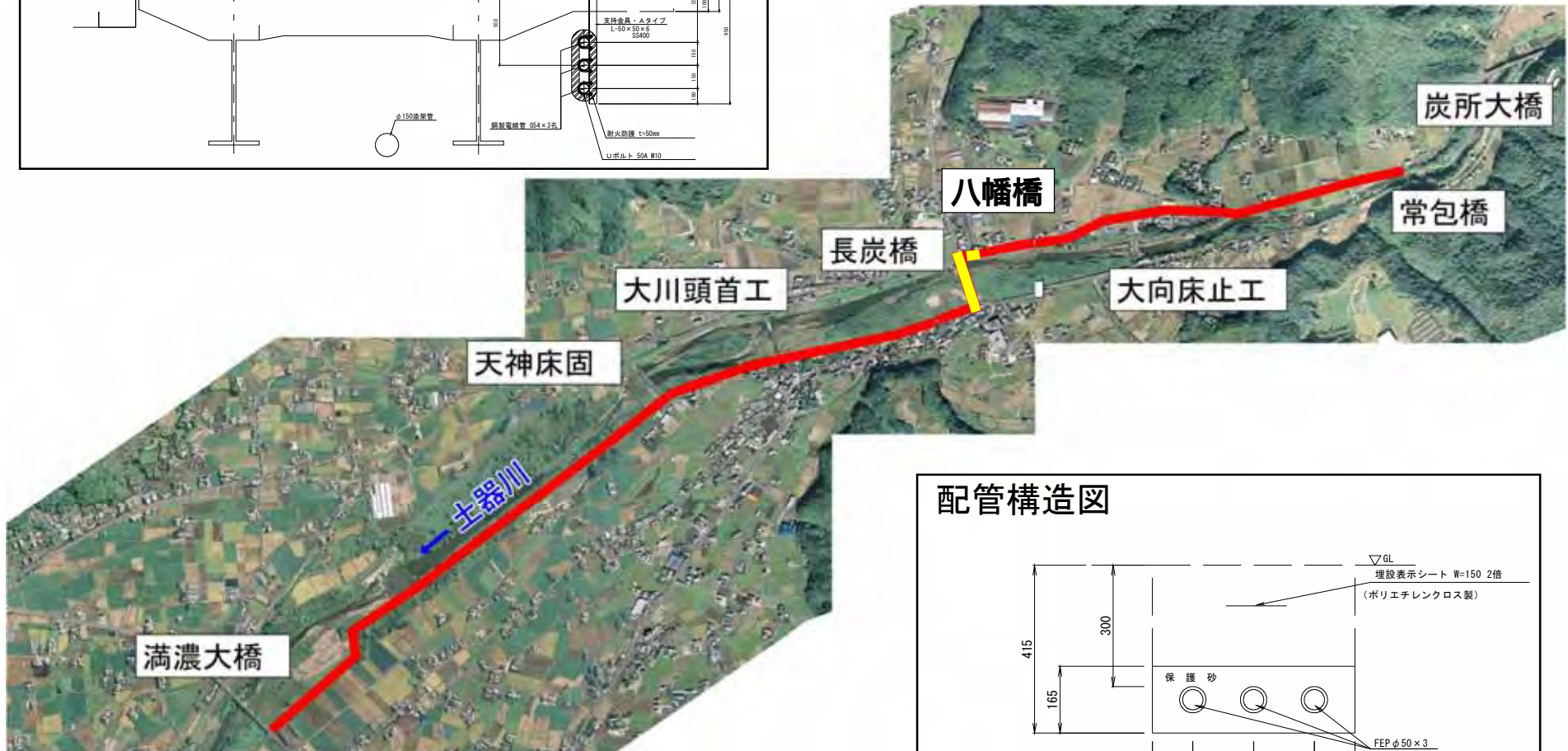
【⑤R4-5年度 土器川長尾地区施設整備外工事】の概要

橋梁添架図

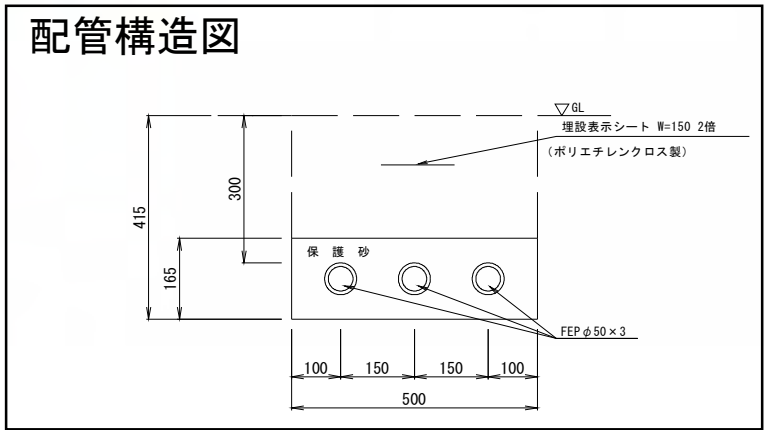


【主な実施内容】

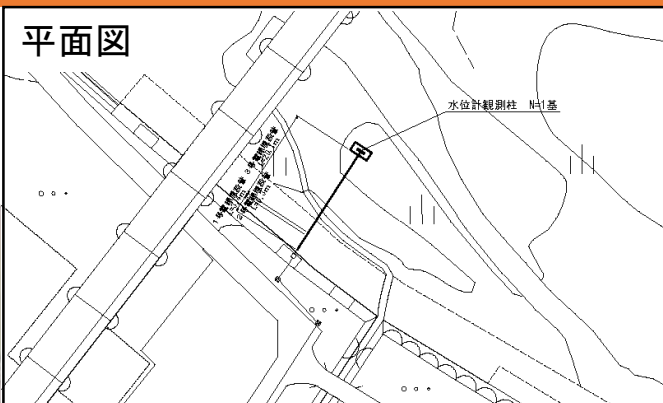
- ・ 情報管路敷設
- ・ 光ケーブル敷設



配管構造図

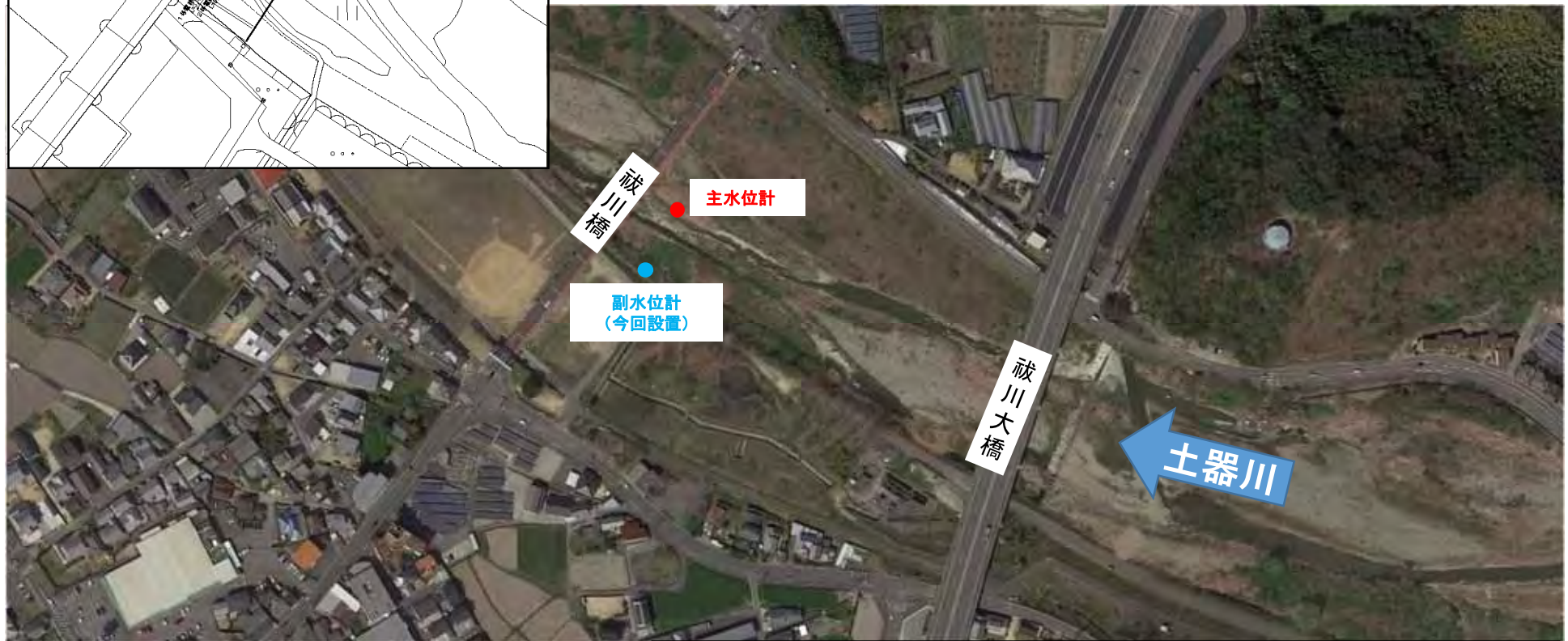


【⑥R4-5年度 土器川河床整正外工事】の概要

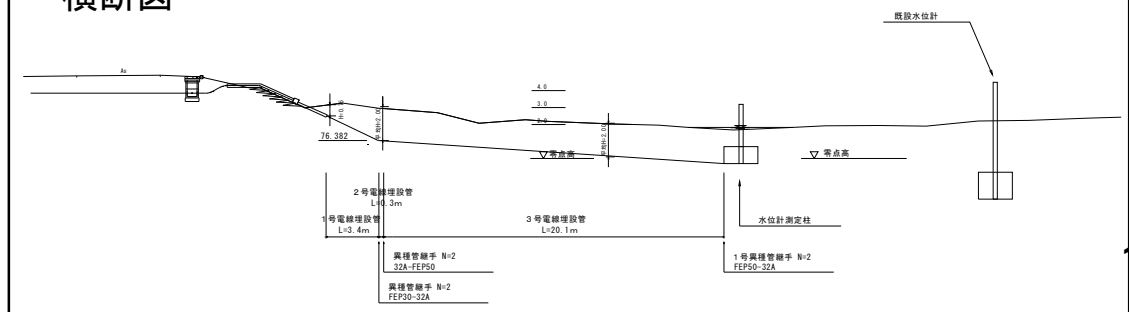


【主な実施内容】

- ・ 祓川水位観測所 二重化

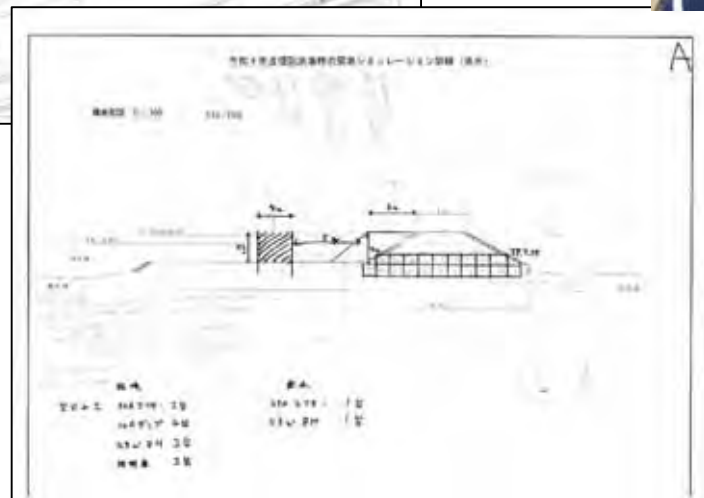


横断図



【香川河川国道事務所】堤防決壊時の緊急対策シミュレーションの実施

- 河川管理者としての堤防決壊に対する危機意識の保持と技術水準の維持、向上を目的として令和4年5月27日に洪水による堤防決壊シミュレーションを実施。
- 堤防が決壊した場合、「決壊箇所をどう締め切るか。」具体的にシミュレーションを行うことで、得られた課題や知見を、体制や備蓄資材等に反映し、緊急対策時の技術力の向上を図る。



土器川右岸3k200地点の決壊時の堤防復旧検討成果

堤防決壊シミュレーション実施状況

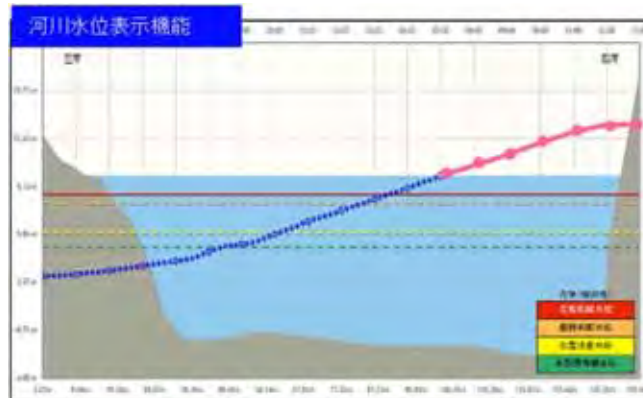
【香川河川国道事務所】水害リスクラインを活用した情報提供

▶ 観測所地点の水位から上下流連続的な水位をリアルタイムで計算し、堤防の高さとの比較により地先毎の洪水危険度を把握・表示する国管理河川の洪水の危険度分布(水害リスクライン)により、災害の切迫感をわかりやすく伝える取組を推進。

令和2年7月豪雨における表示(江の川水系江の川の例)



実際の河川の状況



【参考】近隣の水位観測所

土器川も情報を提供



令和4年12月22日 10時時点



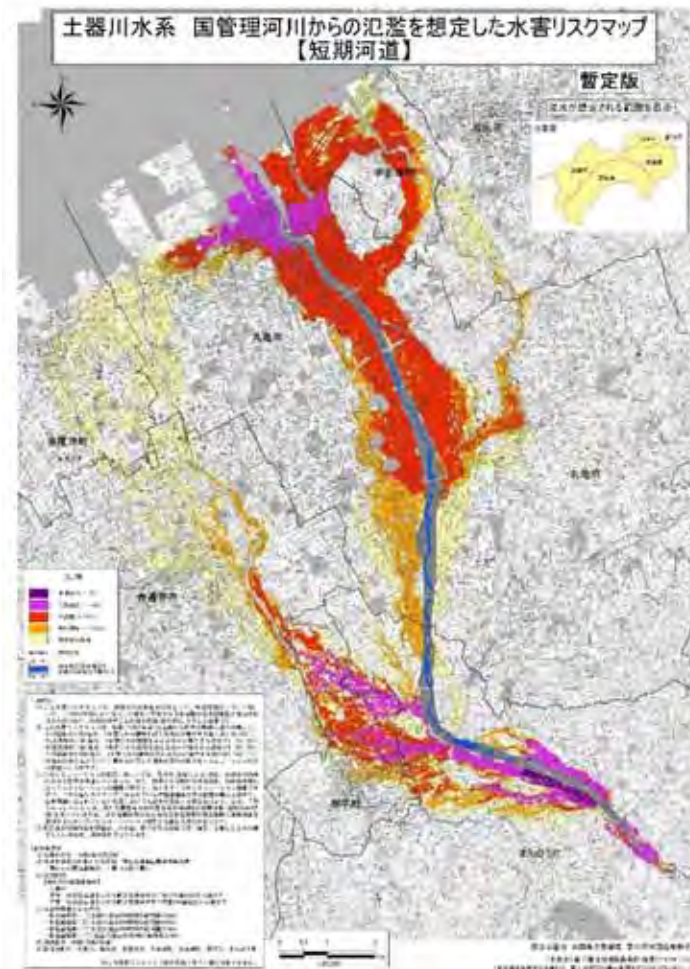
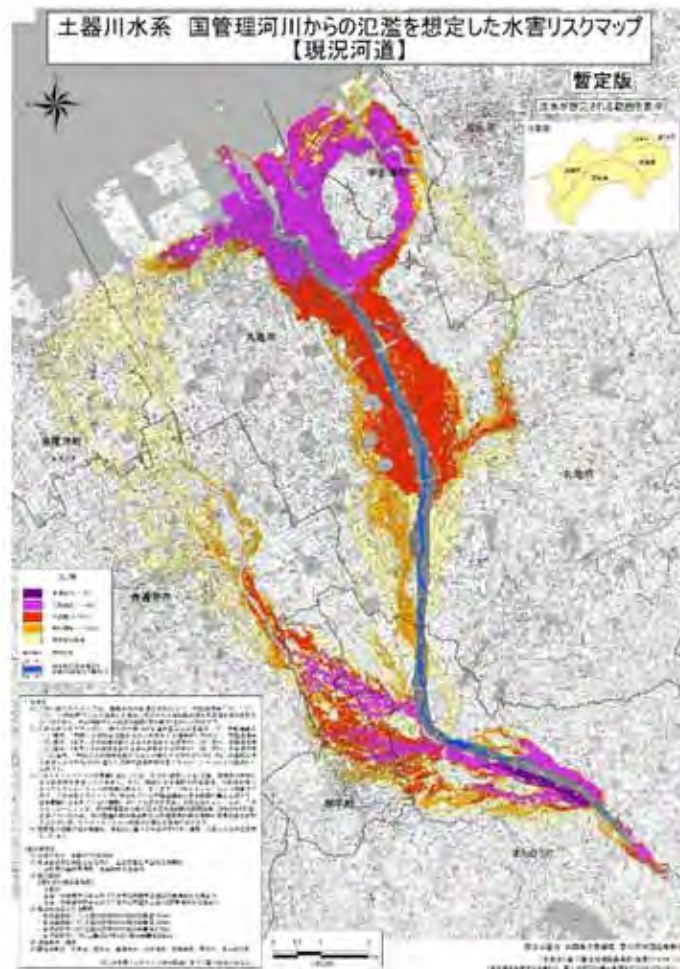
<https://frl.river.go.jp/>

水害リスクラインのウェブサイトへアクセスし、土器川水系を選択!



【香川河川国道事務所】水害リスク情報の充実

- 水害リスク情報の充実に向け、土器川からの氾濫を想定した「多段階の浸水想定図及び水害リスクマップ」を令和4年10月26日に公表。
- 土器川の河川整備を現況と短期河道の2段階の状況で検討し、年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100の4ケースに加え、想定最大規模降雨の浸水域を重ねることで地先の水害リスクを明示。



【各構成員共通】国・県・市町など土器川水防連絡協議会の開催

- 洪水時における河川管理者と水防関係機関・防災関係機関相互の迅速・確実な連絡方法の確保や災害の予防と軽減を図るため、令和4年5月23日に「土器川水防連絡協議会」を開催。
- 令和4年度水防計画書や重要水防箇所の変更について関係機関と情報を共有。
- 令和4年5月31日には、洪水に対する危険性を共有するため、土器川の重要水防箇所を地元自治体防災担当者等と合同巡視を実施。



土器川水防連絡協議会の開催状況



重要水防箇所の巡視状況

【各構成員共通】国・県・市町など関係機関が連携した総合水防訓練の実施

- 「令和4年度 土器川総合水防演習」中止に伴う代替え訓練として、「令和4年度 水防技術講習会」及び「令和4年度 情報伝達訓練」を実施。
- 四国地方防災エキスパートを講師として招き、流域の消防団を対象に水防技術の維持・向上を目的とした水防工法の実技講習を実施。
- また、台風接近を予想した国・気象台・自治体によるWEB会議ツールを用いた情報伝達訓練を実施。

○ 開催スケジュール

＜水防技術講習会＞

令和4年6月19日(日)9:00～12:00

＜情報伝達訓練(WEB)＞

令和4年6月19日(日)10:30～11:30

○ 場所

丸亀市垂水町地先 土器川生物公園河川敷

○ 出席者

＜水防技術講習会 約100名参加＞

- ・丸亀市 13名、坂出市 9名、宇多津町 8名、琴平町 22名、まんのう町 33名、四国地方防災エキスパート 12名、香川河川国道事務所 9名

＜情報伝達訓練 参加機関＞

- ・丸亀市、坂出市、宇多津町、琴平町、多度津町、まんのう町、高松地方気象台、四国地方整備局、香川河川国道事務所、香川県立飯山高等学校



開会式

6/19(日)18:45～
NHKで放送されました



ロープワーク



実技講習(改良積土のう工)



情報伝達訓練

【各構成員共通】「中讃地域 防災・減災・縮災ネットワーク」構築・推進

- 中讃地域を主体に、「人材育成プロジェクト」と「地域連携プロジェクト」の活動を実施することにより、地域の情報共有、地域活動の共同参画、災害時の協力体制などの新たな仕組みを醸成させる取組として、令和3年12月のキックオフシンポジウムより具体的に活動を開始。
- さらなる地域のつながりを目指して、交流の場づくりを企画。

広域的な“中讃地域”を対象とした取組を推進
対象河川：【土器川、金倉川、大東川】

中讃地域 防災・減災・縮災
ネットワーク・プロジェクト(R2～)



【目的】

中讃地域における多種多様な組織・団体が連携することにより、地域住民が迅速かつ的確な命を守る避難行動を実行できる“避難支援体制づくり”や、地域が迅速かつ柔軟な復旧・復興を成し遂げられる“災害に強い地域づくり”を目指して、「人材育成と地域連携の仕組みづくり」を継続的に推進

交流の場：「リレー防災みらいサロン」を企画

キャッチコピー

“防災をきっかけに、地域の課題や活動を知ろう・話そう”

【目的(案)】

- ① 交流の場・機会を増やす
- ② 地域の多種多様な組織・団体が知り合いになる
- ③ 「防災」をキーワードに、地域で「つながりの輪」を作る
- ④ 地域の情報を共有する
- ⑤ 地域防災リーダーを育成する
- ⑥ 様々な地域活動に共同で参画しやすくする
- ⑦ 災害時に地域で協力しやすい体制を作る



枠組み(組織、場)の構築イメージ

【各構成員共通】「多機関連携型タイムライン」の作成と訓練の実施

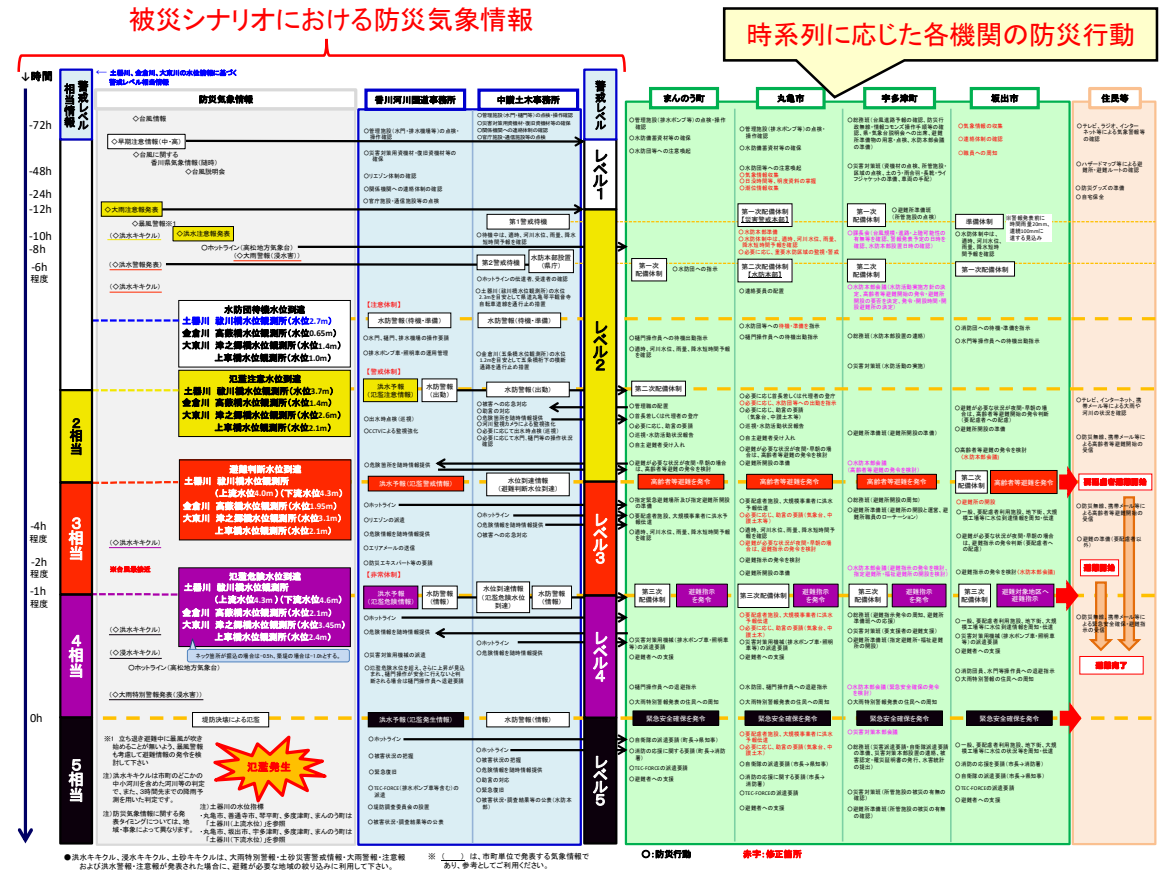
- 令和4年度に関係機関(24組織)が集まり、ワーキングを開催。
- 合計3回のワーキングにより「土器川・金倉川・大東川を対象とした多機関連携型タイムライン(洪水)」を作成。
- 令和5年度より、実際に運用を開始し、実践により判明した課題等をワーキングで共有し、継続した見直しを図る。

■ タイムライン(防災行動計画)とは、災害の発生を前提に、防災関係機関が連携して災害時に発生する状況を予め想定し共有した上で、「いつ」、「誰が」、「何をするか」に着目して、防災行動とその実施主体を時系列で整理した計画。

回	開催日	主な検討内容
第1回WG	R4.9.29	①ワーキング運営要領の承認 ②多機関連携型タイムライン【素案】の説明 ③防災行動の判断基準となる目安
第2回WG	R4.10.26	①多機関連携型タイムライン【改訂素案】の説明 ②連携に関する具体的な調整事項
第3回WG	R4.12.22	①多機関連携型タイムライン【改定案】の説明 ②今後の運用等に向けた予定



多機関連携イメージ



土器川・金倉川・大東川 多機関連携型タイムライン(洪水)

構成員

丸亀市

※赤字、青字の対策を実施
(青字は、各構成員共通)

＜令和3年度に提示した流域治水対策＞

- ・堤防整備(橋梁架替含む)、河道掘削、侵食対策、土器川潮止堰更新
- ・雨水貯留施設整備【下水】
- ・**下水道事業の推進【下水】**
- ・雨水排水施設整備【下水】
- ・各家庭等における雨水貯留浸透施設整備への助成【都市】
- ・小河川の河川整備(河道掘削等)
- ・治山施設の整備
- ・森林の整備・保全【林野】
- ・砂防施設の整備等
- ・**農地・ため池の保全・活用**
- ・既存の霞堤の保全
- ・不動産関係業界と連携した水害リスクに関する情報の解説
- ・**「中讃地域 防災・減災・縮災ネットワーク」構築・推進**
- ・**「多機関連携型タイムライン」の作成と訓練の実施**
- ・広域避難の近隣市町連携
- ・水害リスク空白域の解消
- ・**ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組**
- ・**要配慮者利用施設における避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保**
- ・堤防決壊時の緊急対策シミュレーションの実施
- ・**国・県・市町など関係機関が連携した総合水防訓練の実施**
- ・**国・県・市町など土器川水防連絡協議会の開催**
- ・洪水予測等のプッシュ型情報提供
- ・水害リスクラインを活用した情報提供

＜令和4年度に取り組んだ流域治水対策＞

- ・**下水道事業の推進【下水】**
- ・**農地・ため池の保全・活用**

【丸亀市】下水道事業の推進

➤ 土器排水区における浸水被害の軽減に向けた対策検討が完了した。今後は対策を実施するため、引き続き下水道事業を推進していく予定。

事業、対策の概要

- ・下水道事業(浸水対策)
- ・排水施設整備等
- ・浸水被害の軽減

排水施設整備等



事業・対策位置図(実施箇所、予定箇所)

【丸亀市】農地・ため池の保全・活用

➤ 今後も引き続き田んぼダムの取組を香川県と連携し推進するほか、ため池の低水位管理や水位計・監視カメラからの設置についてもため池管理者と協議を進め令和5年度から順次取り組んでいく。

・田んぼダム

香川県と連携し、ほ場整備が完了した地域を中心に専用せき板を設置し排水量を抑制する

・ため池低水位管理

浸水被害地域の上流に位置するため池の水位を計画的に低水位で管理し、大雨時の貯留池として活用

・ため池水位計・監視カメラ設置

水位計・監視カメラを設置し、ため池の保全・監視体制の強化を図る

ため池 低水位管理 (協議中)



田んぼダム



ため池水位計・監視カメラ



事業・対策位置図(予定箇所)

構成員

坂出市

※赤字、青字の対策を実施
(青字は、各構成員共通)

＜令和3年度に提示した流域治水対策＞

- ・堤防整備(橋梁架替含む)、河道掘削、侵食対策、土器川潮止堰更新
- ・雨水貯留施設整備【下水】
- ・**下水道事業の推進【下水】**
- ・雨水排水施設整備【下水】
- ・**各家庭等における雨水貯留浸透施設整備への助成【都市】**
- ・小河川の河川整備(河道掘削等)
- ・治山施設の整備
- ・森林の整備・保全【林野】
- ・砂防施設の整備等
- ・**農地・ため池の保全・活用**
- ・既存の霞堤の保全
- ・不動産関係業界と連携した水害リスクに関する情報の解説
- ・**「中讃地域 防災・減災・縮災ネットワーク」構築・推進**
- ・**「多機連携型タイムライン」の作成と訓練の実施**
- ・広域避難の近隣市町連携
- ・水害リスク空白域の解消
- ・**ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組**
- ・**要配慮者利用施設における避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保**
- ・堤防決壊時の緊急対策シミュレーションの実施
- ・**国・県・市町など関係機関が連携した総合水防訓練の実施**
- ・**国・県・市町など土器川水防連絡協議会の開催**
- ・洪水予測等のプッシュ型情報提供
- ・水害リスクラインを活用した情報提供

＜令和4年度に取り組んだ流域治水対策＞

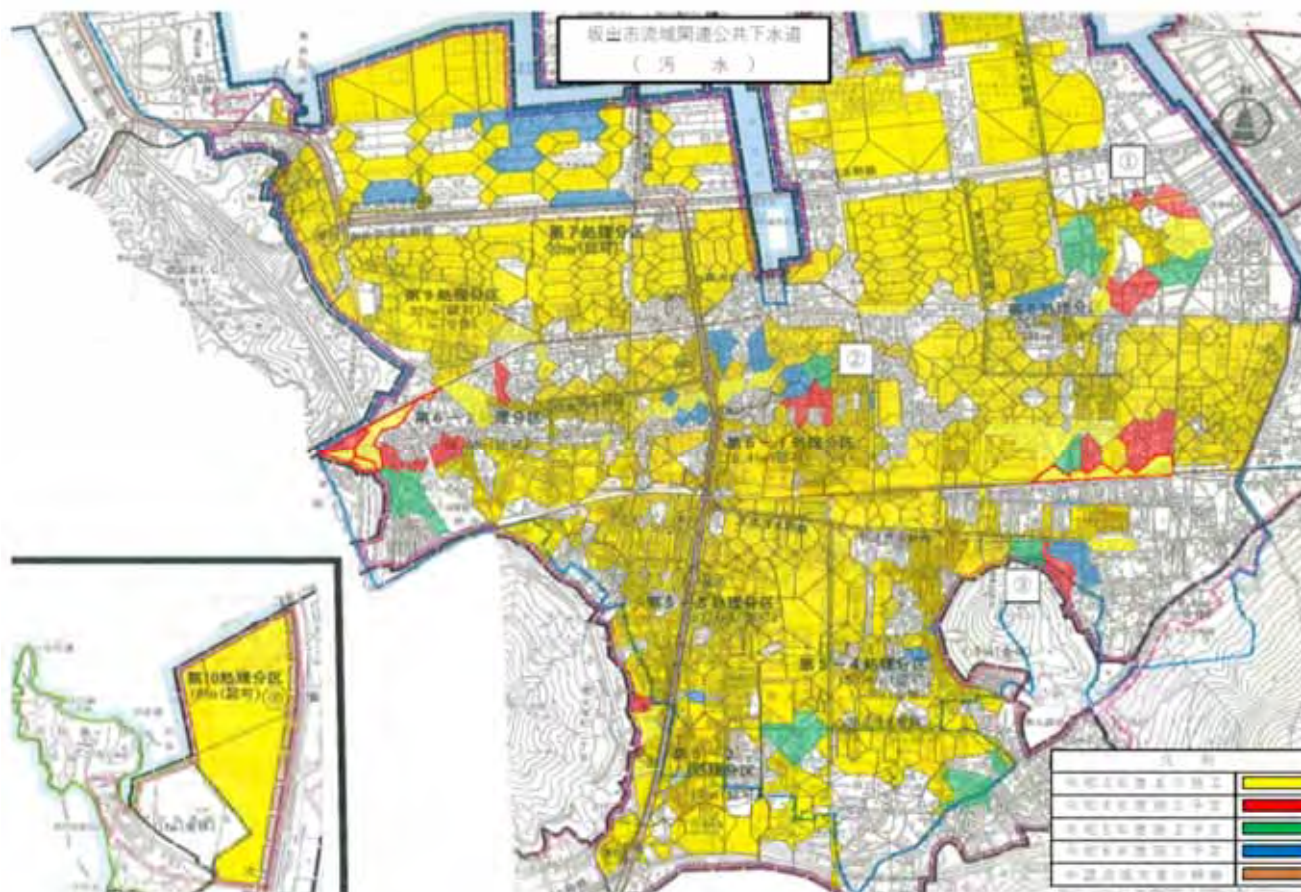
- ・**下水道事業の推進【下水】**
- ・**各家庭等における雨水貯留浸透施設整備への助成【都市】**

【坂出市】下水道事業の推進

➤事業認可区域656haのうち令和3年度整備済面積は345.54haとなっており、事業認可区域内の整備を進めているところである。

【事業の目的】

下水道の整備を図り、もって都市の健全な発達及び公衆衛生の向上に寄与し、あわせて公共用水域の水質の保全に資することを目的とする。



【坂出市】各家庭等における雨水貯留浸透施設整備への助成

- 雨水貯留施設設置・改造補助金を交付している。
- 令和4年12月現在で、4件雨水貯留施設設置の申請がある。

【事業の目的】

雨水の有効利用および浄化槽の再利用を推進し、水資源および環境の保全を図り、もって本市が目指す節水型まちづくりに資することを目的として、雨水貯留施設を新設する者および公共下水道等を使用し、または新しく浄化槽を設置することにより不要になった浄化槽を雨水貯留施設に改造する者に対し、その費用の一部を補助する。

不要になった浄化槽を雨水貯留タンクに

雨水貯留施設設置・改造補助金について

漏水対策の一環として雨水を庭木等の散水に有効利用するため、雨水貯留施設を新設するかた および公共下水道等を使用し、または新しく浄化槽を設置することにより不要になった浄化槽を雨水貯留施設に改造するかたに補助金を交付しています。

1. 対象施設

■ 雨水貯留施設(貯留タンク)を新設する場合

- ・貯留槽の容量が100リットル以上であること。
- ・固定して設置されていること。
- ・雨どい等に接続し、給排水のための配管その他の設備を備えていること。
- ・内部の清掃が可能な構造であること。

■ 浄化槽を改造する場合

- ・既設浄化槽からの転用

2. 補助対象者

- ・市の区域内に住所を有するかた
- ・自ら居住する専用住宅(小型店舗等を併設した住宅を含む)の敷地内に対象施設を設置するかた

3. 補助金額

- ・設置工事または改造工事に要した経費の2分の1(5万円上限)。
※申請前に工事着手した場合は、補助金を受けられません。
※予算の範囲内での補助となります。

- ご希望のかたは、事前に確認してください。



構成員

善通寺市

※赤字、青字の対策を実施
(青字は、各構成員共通)

<令和3年度に提示した流域治水対策>

- ・堤防整備(橋梁架替含む)、河道掘削、侵食対策、土器川潮止堰更新
- ・雨水貯留施設整備【下水】
- ・下水道事業の推進【下水】
- ・雨水排水施設整備【下水】
- ・各家庭等における雨水貯留浸透施設整備への助成【都市】
- ・小河川の河川整備(河道掘削等)
- ・治山施設の整備
- ・森林の整備・保全【林野】
- ・砂防施設の整備等
- ・農地・ため池の保全・活用
- ・既存の霞堤の保全
- ・不動産関係業界と連携した水害リスクに関する情報の解説
- ・「中讃地域 防災・減災・縮災ネットワーク」構築・推進
- ・「多機関連携型タイムライン」の作成と訓練の実施
- ・広域避難の近隣市町連携
- ・水害リスク空白域の解消
- ・ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組
- ・要配慮者利用施設における避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保
- ・堤防決壊時の緊急対策シミュレーションの実施
- ・国・県・市町など関係機関が連携した総合水防訓練の実施
- ・国・県・市町など土器川水防連絡協議会の開催
- ・洪水予測等のプッシュ型情報提供
- ・水害リスクラインを活用した情報提供

<令和4年度に取り組んだ流域治水対策>

- ・避難に関する取組の推進

【善通寺市】避難に関する取組の推進

➤ ハザードマップの見直し

- ・総合ハザードマップから洪水、土砂災害、ため池の個々のハザードマップへの見直し
- ・弘田川洪水浸水想定区域の反映
- ・マイタイムラインカードの配布



構成員

宇多津町

※赤字、青字の対策を実施
(青字は、各構成員共通)

<令和3年度に提示した流域治水対策>

- ・堤防整備(橋梁架替含む)、河道掘削、侵食対策、土器川潮止堰更新
- ・**雨水貯留施設整備【下水】**
- ・下水道事業の推進【下水】
- ・**雨水排水施設整備【下水】**
- ・各家庭等における雨水貯留浸透施設整備への助成【都市】
- ・小河川の河川整備(河道掘削等)
- ・治山施設の整備
- ・森林の整備・保全【林野】
- ・砂防施設の整備等
- ・**農地・ため池の保全・活用**
- ・既存の霞堤の保全
- ・不動産関係業界と連携した水害リスクに関する情報の解説
- ・**「中讃地域 防災・減災・縮災ネットワーク」構築・推進**
- ・**「多機関連携型タイムライン」の作成と訓練の実施**
- ・**広域避難の近隣市町連携**
- ・水害リスク空白域の解消
- ・**ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組**
- ・**要配慮者利用施設における避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保**
- ・堤防決壊時の緊急対策シミュレーションの実施
- ・**国・県・市町など関係機関が連携した総合水防訓練の実施**
- ・**国・県・市町など土器川水防連絡協議会の開催**
- ・洪水予測等のプッシュ型情報提供
- ・水害リスクラインを活用した情報提供

<令和4年度に取り組んだ流域治水対策>

- ・**雨水貯留施設整備**

【宇多津町】雨水浸水対策（網の浦地区）

1. はじめに

- 宇多津町雨水計画においては、近年の、公共下水道計画の想定を上回る降雨の頻発化により都市域の浸水被害が増大しており、早急な雨水浸水対策が必要となっております。
- 浸水解消の方法としては、現況雨水施設の排水能力を上回るピーク時の雨水を、貯留槽に貯めることによりカットするものとします。

2. 網の浦地区における既往の浸水被害

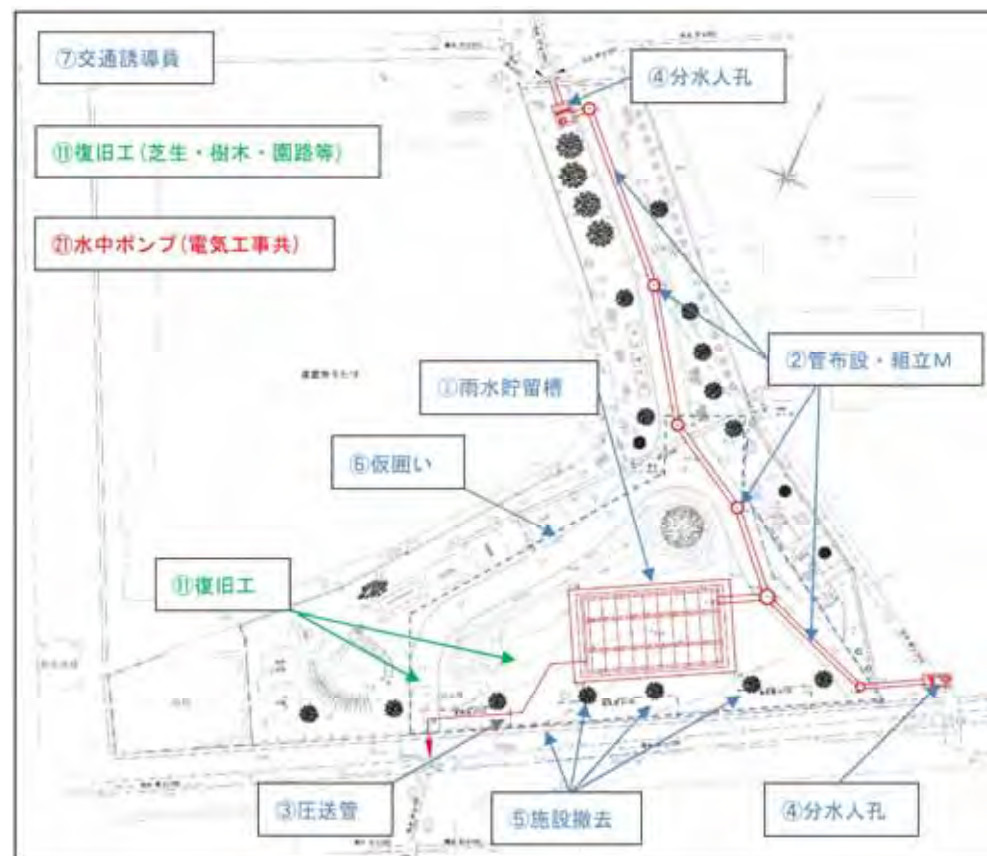
- 平成28年9月8日午前2時50分から午前3時40分にかけて短時間集中降雨が発生し、床下・床上浸水を合わせて、43戸の家屋に浸水被害が生じた。

3. 浸水対策

- 網の浦万葉公園に、有効貯留量 400m³の雨水貯留槽1基を設置します。



雨水貯留槽の内部状況写真



雨水貯留槽および接続配管計画図

構成員

琴平町

※赤字、青字の対策を実施
(青字は、各構成員共通)

<令和3年度に提示した流域治水対策>

- ・堤防整備(橋梁架替含む)、河道掘削、侵食対策、土器川潮止堰更新
- ・雨水貯留施設整備【下水】
- ・下水道事業の推進【下水】
- ・雨水排水施設整備【下水】
- ・各家庭等における雨水貯留浸透施設整備への助成【都市】
- ・小河川の河川整備(河道掘削等)
- ・治山施設の整備
- ・森林の整備・保全【林野】
- ・砂防施設の整備等
- ・農地・ため池の保全・活用
- ・既存の霞堤の保全
- ・不動産関係業界と連携した水害リスクに関する情報の解説
- ・「中讃地域 防災・減災・縮災ネットワーク」構築・推進
- ・「多機関連携型タイムライン」の作成と訓練の実施
- ・広域避難の近隣市町連携
- ・水害リスク空白域の解消
- ・ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組
- ・要配慮者利用施設における避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保
- ・堤防決壊時の緊急対策シミュレーションの実施
- ・国・県・市町など関係機関が連携した総合水防訓練の実施
- ・国・県・市町など土器川水防連絡協議会の開催
- ・洪水予測等のプッシュ型情報提供
- ・水害リスクラインを活用した情報提供

<令和4年度に取り組んだ流域治水対策>

- ・避難に関する取組の推進

【琴平町】ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組

- 令和2年度に「琴平町総合ハザードマップ」を作成後、町内全戸に配布し、婦人会、各学校等で出前講座を実施した際には、ハザードマップの活用方法を説明した。今後もハザードマップの活用、周知等を通じて理解広めることを推進する予定。
- ゴマ谷池の耐震診断を令和5年度に実施予定。

ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組

防災出前講座において琴平町で作成している「琴平町総合ハザードマップ」の活用方法を周知し、住民へ水害リスクの周知等を実施した。

【令和4年度防災出前講座実施団体】

- ・琴平町婦人会(25人)
- ・琴平町立榎井小学校(13人)
- ・琴平町立象郷小学校(18人)
- ・琴平老人の家(10人)



構成員

多度津町

※赤字、青字の対策を実施
(青字は、各構成員共通)

<令和3年度に提示した流域治水対策>

- ・堤防整備(橋梁架替含む)、河道掘削、侵食対策、土器川潮止堰更新
- ・雨水貯留施設整備【下水】
- ・**下水道事業の推進【下水】**
- ・**雨水排水施設整備【下水】**
- ・各家庭等における雨水貯留浸透施設整備への助成【都市】
- ・小河川の河川整備(河道掘削等)
- ・治山施設の整備
- ・森林の整備・保全【林野】
- ・砂防施設の整備等
- ・**農地・ため池の保全・活用**
- ・既存の霞堤の保全
- ・不動産関係業界と連携した水害リスクに関する情報の解説
- ・**「中讃地域 防災・減災・縮災ネットワーク」構築・推進**
- ・**「多機関連携型タイムライン」の作成と訓練の実施**
- ・**広域避難の近隣市町連携**
- ・水害リスク空白域の解消
- ・**ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組**
- ・**要配慮者利用施設における避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保**
- ・堤防決壊時の緊急対策シミュレーションの実施
- ・**国・県・市町など関係機関が連携した総合水防訓練の実施**
- ・**国・県・市町など土器川水防連絡協議会の開催**
- ・洪水予測等のプッシュ型情報提供
- ・水害リスクラインを活用した情報提供

<令和4年度に取り組んだ流域治水対策>

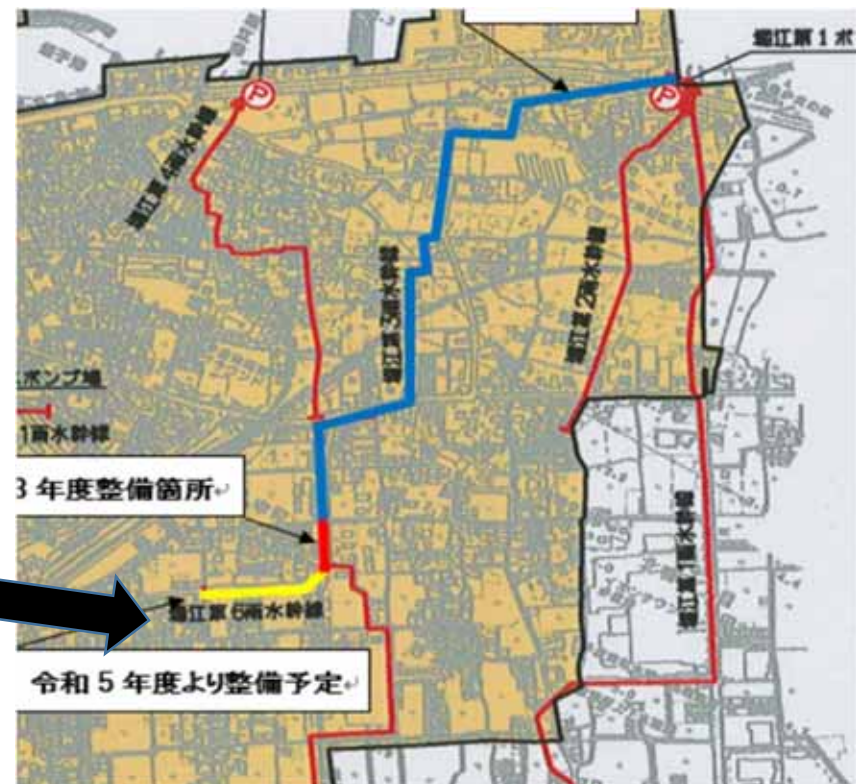
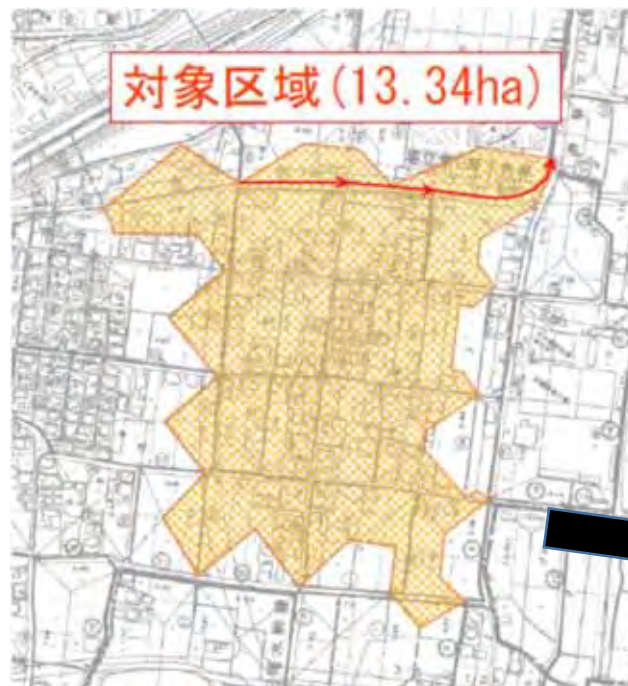
- ・**雨水排水施設整備【下水】**

【多度津町】雨水排水施設整備

- 令和3年度整備箇所から堀江第1ポンプ場までの堀江第3雨水幹線の整備を完了し、今後はその上流部分である堀江第6雨水幹線の整備を予定。

事業の概要

- ・目的：下流地域の浸水被害軽減
- ・対策諸元：雨水管渠 □2,300×1,100(L=140m)、□1,600×700(L=204m)
対象区域 13.34ha
- ・目標：対象区域の雨水幹線を早期に整備し、排水能力を向上させる。



多度津町下水道計画図

構成員

まんのう町

※赤字、青字の対策を実施
(青字は、各構成員共通)

＜令和3年度に提示した流域治水対策＞

- ・堤防整備(橋梁架替含む)、河道掘削、侵食対策、土器川潮止堰更新
- ・雨水貯留施設整備【下水】
- ・下水道事業の推進【下水】
- ・雨水排水施設整備【下水】
- ・各家庭等における雨水貯留浸透施設整備への助成【都市】
- ・小河川の河川整備(河道掘削等)
- ・治山施設の整備
- ・森林の整備・保全【林野】
- ・砂防施設の整備等
- ・農地・ため池の保全・活用
- ・既存の霞堤の保全
- ・不動産関係業界と連携した水害リスクに関する情報の解説
- ・「中讃地域 防災・減災・縮災ネットワーク」構築・推進
- ・「多機関連携型タイムライン」の作成と訓練の実施
- ・広域避難の近隣市町連携
- ・水害リスク空白域の解消
- ・ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組
- ・要配慮者利用施設における避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保
- ・堤防決壊時の緊急対策シミュレーションの実施
- ・国・県・市町など関係機関が連携した総合水防訓練の実施
- ・国・県・市町など土器川水防連絡協議会の開催
- ・洪水予測等のプッシュ型情報提供
- ・水害リスクラインを活用した情報提供

＜令和4年度に取り組んだ流域治水対策＞

- ・農地・ため池の保全・活用

【まんのう町】農地・ため池の保全・活用

- 土器川流域の治水対策を促進するため、香川県とまんのう町が連携し、流域治水を推進。
- 土器川上流域の2箇所の圃場整備(26.4 ha)を推進し、畦畔の強化などにより水田への湛水能力を向上。
- また、10箇所の圃場整備では、香川県がせき板を配布し、26.3 haの水田への湛水能力をさらに向上させ、下流域の湛水被害のリスク軽減に貢献。



まんのう町 圃場整備 位置図

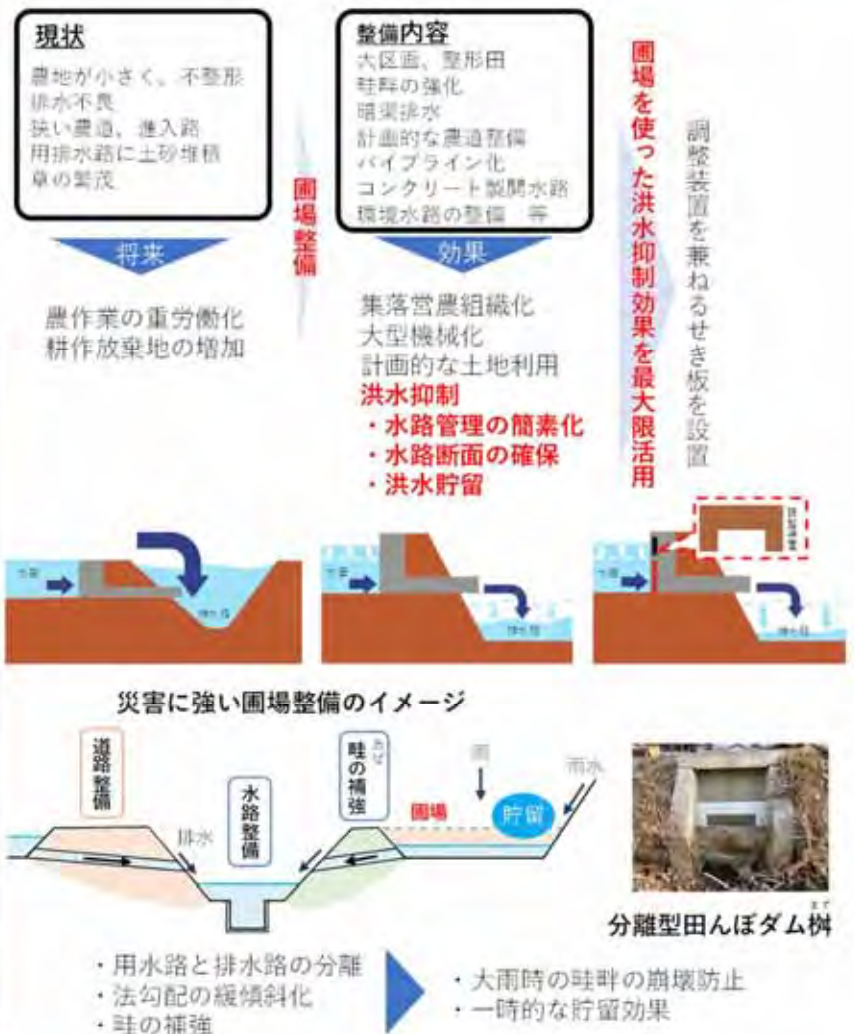
○ 圃場整備箇所

国管理区間

箇所	面積 (ha)
2	26.4

箇所	面積 (ha)
10	26.3

国土地理院地図



構成員

香川県

※赤字、青字の対策を実施
(青字は、各構成員共通)

<令和3年度に提示した流域治水対策>

- ・堤防整備(橋梁架替含む)、河道掘削、侵食対策、土器川潮止堰更新
- ・雨水貯留施設整備【下水】
- ・下水道事業の推進【下水】
- ・雨水排水施設整備【下水】
- ・各家庭等における雨水貯留浸透施設整備への助成【都市】
- ・小河川の河川整備(河道掘削等)
- ・治山施設の整備
- ・森林の整備・保全【林野】
- ・砂防施設の整備等
- ・農地・ため池の保全・活用
- ・既存の霞堤の保全
- ・不動産関係業界と連携した水害リスクに関する情報の解説
- ・「中讃地域 防災・減災・縮災ネットワーク」構築・推進
- ・「多機関連携型タイムライン」の作成と訓練の実施
- ・広域避難の近隣市町連携
- ・水害リスク空白域の解消
- ・ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組
- ・要配慮者利用施設における避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保
- ・堤防決壊時の緊急対策シミュレーションの実施
- ・国・県・市町など関係機関が連携した総合水防訓練の実施
- ・国・県・市町など土器川水防連絡協議会の開催
- ・洪水予測等のプッシュ型情報提供
- ・水害リスクラインを活用した情報提供

<令和4年度に取り組んだ流域治水対策>

- ・治山施設の整備
- ・砂防施設の整備等
- ・農地・ため池の保全・活用

【香川県河川砂防課】 砂防施設の整備等

➤ 檜林川通常砂防事業を実施。



○ 檜林川通常砂防事業



砂防堰堤整備事業箇所位置図

【香川県農政水産部】農地・ため池の保全・活用

- 「農地保全対策」については、引き続き各種制度を活用し荒廃農地の発生を防止し水田貯留機能を保全。さらに水田貯留機能を強化するため、昨年度から田んぼダムの取組みを啓発。今後、本格的に設置予定。
- 「ため池管理の周知・啓発」については、今年度の説明会で監視・管理体制の強化を図る一環として水位計等の設置を推進。今後、理解を得られた箇所から設置し事前放流等を促進していく。

■農地保全対策の概要

水田の貯留機能を保全するため、日本型直接支払制度、基盤整備事業を活用し荒廃農地の発生を防止する。

さらなる水田貯留機能の強化

田んぼダムの取組みに向けた環境整備



チラシの作成配付
・特徴やメリットを啓発
意見交換会の実施
・農業者に意見徴収

実証実験の実施

- ・調整用堰板形状の検証
- 田んぼダムの試行
- ・同意箇所モデル的に開始



■ため池管理の周知啓発の概要

香川県ため池保全管理協議会等により、適正な保全管理、計画的な防災工事を行うとともに、監視・管理体制の強化を啓発する。

体制強化のため、水位計やカメラを設置

事前放流に向けた環境整備



【香川県みどり整備課】 治山施設の整備

▶ 栗ヶ窪地区、三野谷地区の対策を推進する予定。

栗ヶ窪地区については令和7年度、三野谷地区については令和7年度の対策完了を目標に、計画を検討中。

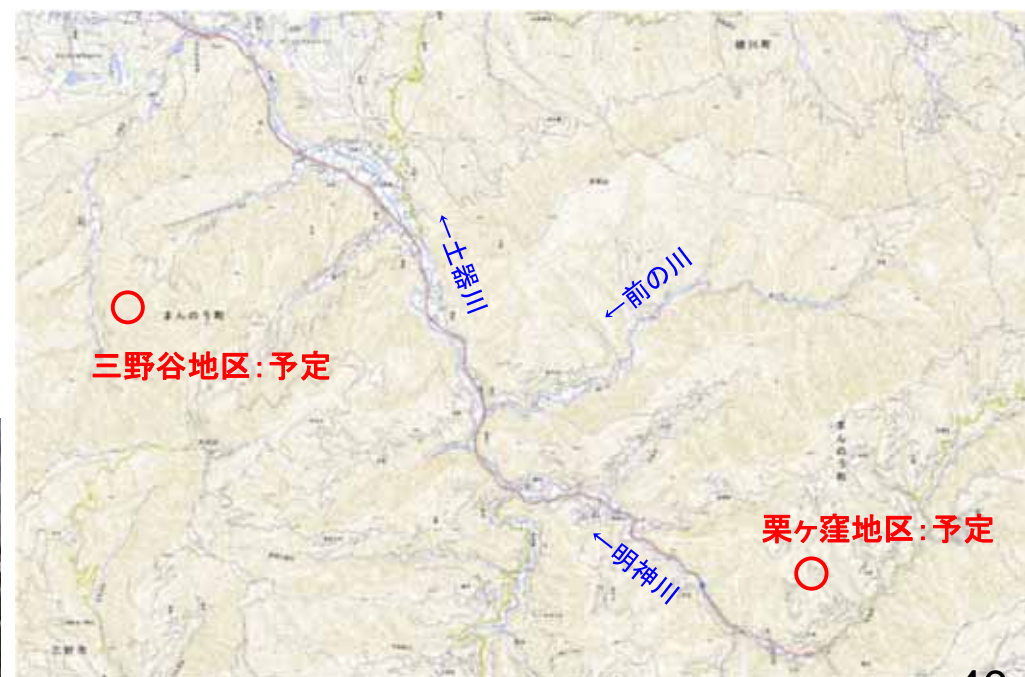
- 森林の有する土砂流出防止や水源かん養機能等の公益的機能の適切な発揮に向け、森林整備を実施する。
- 土石流や山崩れ、落石といった様々な山地災害によって被災した森林の復旧工事を行い、更なる被害の拡大を防止する。
- 災害の発生するおそれのある地区では、治山ダム等の治山施設を設置するなど、防災・減災、国土強靱化に向けて取組む。



＜森林整備による公益的機能の向上＞



＜治山事業の実施による流木・土砂の流出抑制＞



構成員

林野庁
香川森林
管理事務所

森林整備
センター

※赤字の対策を実施

<令和3年度に提示した流域治水対策>

- ・堤防整備(橋梁架替含む)、河道掘削、侵食対策、土器川潮止堰更新
- ・雨水貯留施設整備【下水】
- ・下水道事業の推進【下水】
- ・雨水排水施設整備【下水】
- ・各家庭等における雨水貯留浸透施設整備への助成【都市】
- ・小河川の河川整備(河道掘削等)
- ・治山施設の整備
- ・**森林の整備・保全【林野】**
- ・砂防施設の整備等
- ・農地・ため池の保全・活用
- ・既存の霞堤の保全
- ・不動産関係業界と連携した水害リスクに関する情報の解説
- ・「中讃地域 防災・減災・縮災ネットワーク」構築・推進
- ・「多機関連携型タイムライン」の作成と訓練の実施
- ・広域避難の近隣市町連携
- ・水害リスク空白域の解消
- ・ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組
- ・要配慮者利用施設における避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保
- ・堤防決壊時の緊急対策シミュレーションの実施
- ・国・県・市町など関係機関が連携した総合水防訓練の実施
- ・国・県・市町など土器川水防連絡協議会の開催
- ・洪水予測等のプッシュ型情報提供
- ・水害リスクラインを活用した情報提供

<令和4年度に取り組んだ流域治水対策>

- ・**森林の整備・保全【林野】**

【林野庁 香川森林管理事務所】 森林の整備・保全

令和4年度実施箇所及びR5年度計画箇所について

- 香川森林管理事務所の令和4年度治山工事については、1件発注を終え現在完成1件となっています。また、今年度の補正予算で1件発注予定となっています。
- 土器川流域での令和5年度の治山工事は予定していません。
- 保安林整備事業は1箇所計画し、本数調整伐Aを予定しています。
- なお、今後上局と調整する必要があるため計画箇所等の変更も考えられます。



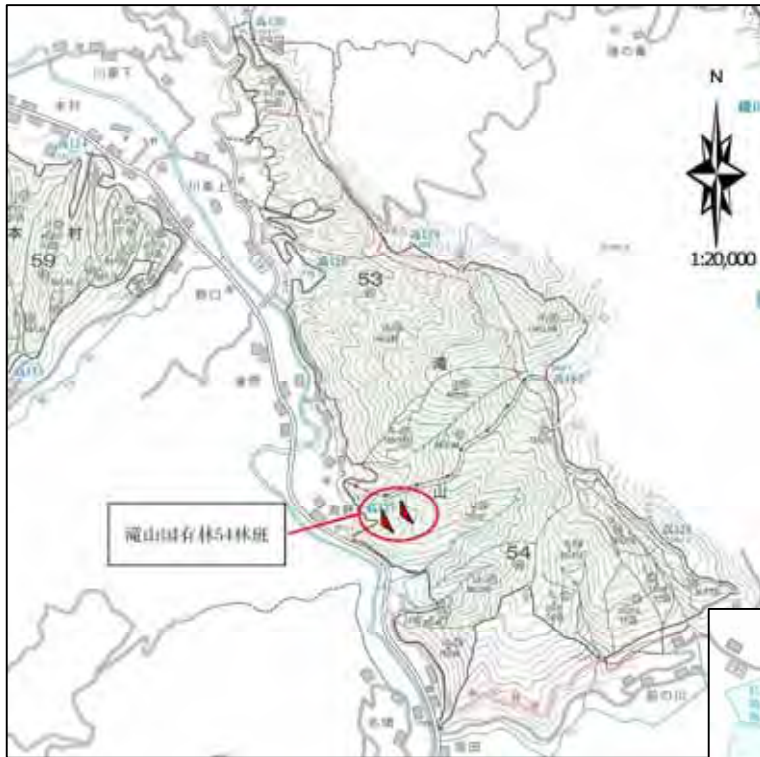
令和4年度実施箇所

工事番号	工事名称	工事場所	工事概要	実行区分	備考
1	滝山(54)復旧治山工事(翌債)	滝山国有林54林班 (仲多度郡まんのう町)	大型ふとんかご工 2基 5.8t NO1 L=11.0m H=4.0m V=2.8t NO2 L=11.5m H=4.0m V=3.0t	完成	令和3年度補正
2	新古(52)復旧治山工事(翌債)	新古国有林52林班 (仲多度郡まんのう町)	鋼製組立網床固工 1基 8.5t L=27.0m H=5.0m V=8.5t	発注予定	令和4年度第2次補正

令和5年度計画予定箇所

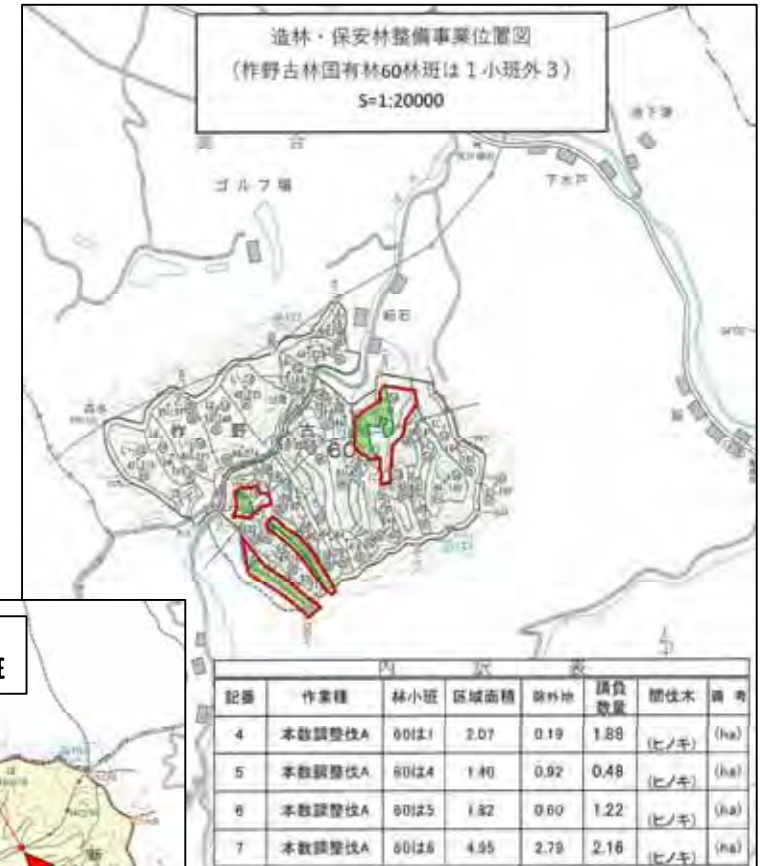
工事番号	工事名称	工事場所	工事概要	実行区分	備考
1	造林・保安林整備事業(柞野古林60林班)	柞野古林国有林60林班 (仲多度郡まんのう町)	本数調整伐A 5.74ha	計画	は1, は4, は5, は6 小班

【林野庁 香川森林管理事務所】 森林の整備・保全



滝山(54)復旧治山工事 位置図

新古(52)復旧治山工事
位置図



造林・保安林整備事業
(柞野古林60林班)
位置図

【森林整備センター】 森林の整備・保全

流域における対策（水源林造成事業による森林の整備・保全）

○ 水源林造成事業地において除間伐等の森林整備を計画的に実施することで、樹木の生長や下層植生の繁茂を促し、森林土壌等の保水力の強化や土砂流出量の抑制を図り、流域治水を強化促進します。

○ 水源林造成事業は、水源の涵養上重要な奥地水源地域の民有保安林のうち、土地所有者の自助努力等によって適正な森林整備が見込めない箇所において、針広混交林等の森林を整備することにより、森林の有する公益的機能の高度発揮を図る事業です。

水源林造成事業の流れ



○ 土器川流域における水源林造成事業地は、**3カ所**（森林面積約**60ha**）であり、流域治水に資する徐間伐等の森林整備を計画的に実施していきます。



II これまでの事業実績（過去5年間の実績）

	H30	R1	R2	R3	R4	計
水源林造成事業	4	—	21	7	15	47

森林整備面積単位：ha

III 徳島水源林整備事務所管内の水源林整備状況

